

本展では、触れたり覗き込んだりしなければ見えてこないものをうつわや壺の「底」になぞらえて、現代アートを紹介します。

たとえば茶碗を口に近づけるといふ行為のなかで、わたしたちはあまり意識せずうつわの底に触れています。普段と異なる茶碗を使えば、その手ざわりを通して底の存在が強く意識されるかもしれません。一方で、たとえば「壺中之天」という故事のように、暗い壺の内側は覗き込んでもなかなか底が見えず、その先には別の世界が広がっているかもしれません。

ときに作品を通じてわたしたちが普段目を向けていないものごとに気づかせたり、ものごとの奥底に潜んでいるものに触れさせたりする、アーティストたちのさまざまな「底」に触れる実践をご覧ください。



- 1 後藤あこ《知らない方角》2022年／陶・木材・鏡／撮影：城戸保
- 2 木曾浩太《プリンプリンマンの肖像》2021年／岩絵具、紙
- 3 ユダ・クスマ・プテラ《Past, Present, Future Come Together_Ina Bandis and Lady Family》2017年／デジタルプリント、紙
- 4 井村一登《loose reflection 15.75ct》2023年／黒曜石／撮影：木奥恵三
- 5 津野青嵐《ねんねんさいさい》2023年／布、PLA
- 6 波多腰彩花《Fragments of Daily》2023年／陶
- 7 光岡幸一《ぶっちぎりのゼッター120%》2023年／ミクストメディア／撮影：黒田菜月
- 8 植村宏木《うつらふもの》2019年／ガラス・竹生島の空気・花崗岩・木綿糸
- 9 田口薫《東亜の聖母》2021年／アクリル、板

1	2
3	5
4	
6	7
8	9



[開館時間] 10:00-17:00 (休館日：火曜日)

*F：瀬戸信用金庫アートギャラリーのみ開館時間・休館日が異なりますので、下記案内をご確認ください。

	A 古民家レンタルスペース 梅村商店 藤田クレア FUJITA Claire 陶本町3-4 (尾張瀬戸駅から徒歩約1分) インフォメーション/マッチャ&コーヒースタンド
	B 無風庵 植村宏木 UEMURA Hiroki 仲切町51 (尾張瀬戸駅から徒歩約8分)
	C ポップアップショップ ユダ・クスマ・プテラ Yudha Kusuma PUTERA 朝日町6 (尾張瀬戸駅から徒歩約8分)
	D 松千代館 波多腰彩花 HATAKOSHI Ayaka 末広町3-3 (尾張瀬戸駅から徒歩約10分)
	E 瀬戸市新世紀工芸館 展示棟1階 後藤あこ GOTO Ako 展示棟2階 井村一登 IMURA Kazuto 津野青嵐 TSUNO Seiran 南仲之切町81-2 (尾張瀬戸駅から徒歩約7分)
	F* 瀬戸信用金庫アートギャラリー 木曾浩太 KISO Kota 田口薫 TAGUCHI Kaoru 東茨町36-11 (尾張瀬戸駅から徒歩約15分) 開館時間: 10:00-16:00 休館日: 火曜日及び10月16日(木)、21日(月)、28日(月)
	G 旧小川陶器店 光岡幸一 MITSUOKA Koichi 蔵所町5 (尾張瀬戸駅から徒歩約4分) 交流センター

連携企画

瀬戸蔵ミュージアム企画展 有料 「底・裏を愉しむ」 会期：10月12日(土) - 11月4日(月・振替休日) 時間：9:00-17:00 (入館は16:30まで) 休館日：10月28日(月)	瀬戸市美術館特別企画展 有料 「瀬戸染付—軌跡そして技と美—」 会期：10月5日(土) - 11月24日(日) 時間：9:00-17:00 (入館は16:30まで、10月5日のみ10:00から開館) 休館日：10月8日(火)、11月12日(火)
---	--

※ほかにも各種イベントが会場周辺の商店街などで開催されます。詳しくはWebサイトをご覧ください。

[尾張瀬戸駅までのアクセス方法] ※公共交通機関での来場にご協力ください。

名古屋駅 13分 JR中央本線 大曾根駅	29分 名鉄瀬戸線
5分 地下鉄東山線 栄駅	37分 名鉄瀬戸線 栄町駅

徒歩すぐ